

大橋越共子

おほはし
こし

俳人。

明治十八年十一月十九日富山縣生乳、昭和

四十二年八月四日歿（八五—九六）。本名八郎。明治四十二年東京帝

國大學法政科大學政治學科卒。通信省入省、昭和六年通信次官、十一年

内閣法制局長官、貴族院議員、十二年國際電氣通信株式會社社長、二十

二年日本放送協會會長、二十二年日本電信電話公社總裁。學生時代の

ら富田風生と親交、高濱虛子といふ師事し、俳誌『ホトトギス』、『若

葉』の各同人會長を、また虚子の葬儀では委員長を務めた。

著書、『句集』、『野梅』（昭和二十五年七月二十日コロナ社）、『大橋越

共子句集』（大橋越共子句集編集委員会編、昭和四十四年六月四日歿

大橋八郎氏記念事業委員会）等。

文獻、大橋八郎伝記編集委員会編『大橋八郎』（有竹修）『執筆、昭和

四十五年九月十日歿大橋八郎氏記念事業委員会）等。